

今期の市議会が閉会となりました

根室市議会は「ほぼ通年」議会の形式をとっています。去年9月7日の「開会議会」でスタートし、8月31日の「閉会議会」で閉会となりました。会期は359日間でした。

例年だとこの「閉会議会」は開催されずに流会となっていました。今回は補正予算が提案されたため実施となりました。

補正予算は、水道・下水道事業会計において過去の消費税の算定誤りが発見されました。2015年度～2019年度までの5年間分の「修正申告」と「更正の請求」を行うことによるものです。2つの会計合せて、差し引き約1,200万円の収益減となりました。

開会議会は9月17日の予定

改選後の新しい議会は、今後あらたな会派構成を経て、9月17日に「開会議会」が開催される予定です。そこで正・副議長や各常任委員会などが選出されます。

市の新型コロナワクチン接種が83%に

根室市の新型コロナワクチン接種は、高齢者等への接種を含め、根室市内の12歳以上の接種対象者2万2676人に対し、ワクチン2回接種した方は1万8831人に。接種率83%とのこと。



市独自に市外のサンマ漁船員やベトナム実習生にワクチン接種も

根室市では8月29日に市内の64歳以下の集団接種が終了しました。

8月31日に行われた根室市議会の「閉会議会」で、石垣市長から新型コロナワクチン接種の取り組みについて報告がされました。

根室市独自の取り組みとして、サンマ漁船員に対して、各漁協が取りまとめた地方から来た方を含め希望する全ての漁船員に接種したことや、また、市内で技能実習を行っているベトナム人実習生についても、根室市水産協会を通じて各社がローテを組み、会場に通知を配置しながら接種してきたこと等が報告されました。

今後は市立根室病院で行っている12歳以上の小学生への接種に加えて、各医療機関で個別接種を行っているそうです。

なお個別接種は市が予約をとり、また、9月21日から週2回の予定で実施されるようです。市広報等でチラシが配布されますので、詳しくはそちらをご覧ください。

石垣市長は、医療従事者や市民の協力に対して感謝を述べるとともに、「引き続き感染対策の徹底とあわせ、市中経済及び文化・スポーツ活動の活性化など、市民皆様の『安全で安心な日常』を取り戻すことができるよう全力で取り組む」と説明していました。

市独自の医療従事者等へのPCR検査事業は今後どうなるのか？

根室市では医療や介護・福祉の従事者、保育・幼稚園関係の職員等に対して、市の独自事業としてPCR検査を6月まで毎月実施してきました。

市は事業評価のためアンケート調査を実施し、7月下旬に結果を公表しました。

「根室市医療従事者等PCR検査事業」は、1月～6月までの期間で、計5,995件の検査を実施し、うち2件が陽性で報告されています(擬陽性の報告は7件)。

このたび市が取りまとめたアンケートの「結果報告」によると、回答のうち83.4%が「やって良かった」。また71.1%がPCR検査事業を「継続してほしい」と回答しています。また「危機管理の意識が高まった」「施設のBCPを見直すきっかけになった」等の副次的な効果もあったようです。

この夏頃から急拡大した「第5波」。根室管内でも羅臼町で深刻な状況となっています。根室市ではワクチン接種は、若年世代まで含めて高い割合で接種が進んでいますが、デルタ株などウイルス変異の影響やブレイクスルー等も懸念されます。全国的には20歳以下の感染も多く、子どもが重症化する事例も報道されています。

今後についても、必要に応じた柔軟な検査等の実施など感染抑止のための特別の対策が、根室市として必要とされているものと思います。

ただ、市が実施してきた「医療従事者等PCR検査事業」は検体を遠隔地に送付するため、検体採取から結果報告まで3日程度の時間がかかっていました。また月に1回の検査ですが、事業所ごとに取りまとめるので検査を個別に任意のタイミングで実施することが難しい面もあります。

一方、市立根室病院では8月から「全額自己負担によるPCR検査」を開始。これは午前中に検体採取すると当日中に証明書が交付されます。しかしコストが高いことと、実施できる検査件数に限りがあります(全額自己負担によるPCR検査は1日5人以下が受験上限)。

いずれにしても、今回のアンケート調査結果も踏まえた中で今後の対策をどうするか。

根室市のさらなる積極的な施策推進が期待されます。

